

生まれた町ではないけれど私、

この町が好きです。

柴田町移住パンフレット

MIYAGI, SHIBATA TOWN, IJU PAMPHLET

ぜひ
来てね!

柴田町移住パンフレット 2023年2月発行

企画・執筆:しばたの発信力UP! 講座受講生(赤塚凜/片岡莉瑛/佐藤龍哉/末永加奈子/高橋和貴/勅使瓦満理奈/長嶺カオリ/
橋本鮎子/堀米沙耶/渡辺大地 ※五十音順)

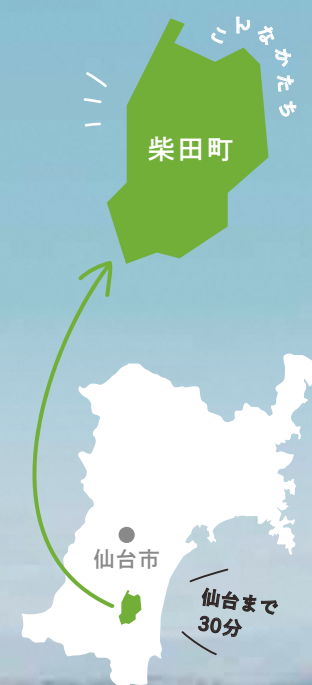
制作:NPO法人余白 企画調整・編集:谷津智里(Bottoms)

デザイン:合同会社nekiwa 表紙イラスト:末永加奈子

発行:宮城県柴田町 担当:まちづくり政策課 宮城県柴田郡柴田町船岡中央2丁目3-45 Tel:0224-54-2111

※掲載されている情報は2023年2月現在のものです





わたしたちの町は、東北地方の宮城県、
県庁所在地の仙台市よりも少し南にあります。
東北の中では温暖で雪も少なく、自慢の桜をはじめ、
四季折々の花が咲く穏やかな気候です。
都市の近くでありながらのどかな風景が広がるこの町で、
心優しい人たちが助け合って暮らしています。
このパンフレットでは、
住民目線で見た柴田町をご紹介します。

はじめまして。 柴田町です。

しばたまち



＼ このパンフレットはわたしたちが作りしました！ ／

しばたの発信力UP! 講座 受講生のみなさん

地元で育った人、
移住してきた人、
大学に通いに来た人、
みんなで柴田町の
魅力を話し合いました！



片岡 莉瑛



末永 加奈子



高橋 和貴



渡辺 大地



佐藤 龍哉



橋本 鮎子



赤塚 凛



堀米 沙耶



長嶺 カオリ



勅使瓦 満理奈

CONTENTS

04 柴田町トピックス

08 柴田のひと

12 小学校区で見る柴田町エリアマップ

16 移住者のホンネ

18 柴田町あるある!? 座談会

平均気温：13.7℃
最深積雪：10cm
(2021年実績)

個人オーナーが経営するこだわりのお店も。それぞれ個性的な店主と仲良くなると町がもっと楽しくなります。

下:「スコーピオンアンドキングクラブ(美容室)」
柴田町船岡新栄4丁目3-2 / 定休日 火曜日 / 受付時間 10:00～19:00 (完全予約制)

SHOP



CAFE

おしゃれなカフェや個性的なカフェが町内に点在。オリジナルコーヒーや手作りスイーツ、こだわりのカレーやパスタを味わいながら、のんびり過ごせます。

上:「フリゴレス船岡店(本店)」 柴田町船岡新栄2丁目3-3
0224-58-1032 / 定休日 木曜日・第2水曜日 / 営業時間10:00～18:30 (カフェのみラストオーダー 17:30)



住宅地

町内には住宅地が多くあり、新興住宅地に若い家族が多く住んでいます。

快適に暮らせます！

チェーン店

国道4号線沿いにはスーパーや量販店、深夜まで営業している飲食店もあり、便利に利用できます。



山

北西部は小高い山になっています。市街地から車で15分程度で気軽に山に行くことができ、街を一望できるスポットも。



桜



桜の名所が多く、船岡城址公園はスロープカーもある代表的なお花見スポット。白石川も一望でき町民に親しまれています。

田園



農村部には美しい田園風景が広がっています。地元でとれた新鮮な野菜を販売する直売所がいくつかあり、気軽に購入することができます。

綺麗な景色がたくさん！

川



町を東西に横切る白石川には夕日を一望できる歩道橋もあり、散歩やランニングを楽しめます。「日本さくら名所百選」の地でもあり、春は桜が咲き誇ります。

街も、自然も。

緑に囲まれて四季を身近に感じる暮らしがしたい。でも田舎暮らしはちょっと不安。そんな人にピッタリの、自然と便利さが同居したまち。

他にも！たくさんの魅力ある公園 /

住宅街には歩いて行ける公園もたくさん。

赤ちゃん連れの親子は出会いが広がり、小学生は子ども同士でも安心して遊びに行かされます。



船岡新栄4号公園

東北最大級の高さを誇るザイルクライミングがシンボル。広い敷地で遊びも広がります。



富上農村公園

田園風景の中、ターザンロープなどで遊べるのどかな公園です。隣の直売所が開いているときは、地元野菜のお買い物も。



若葉1号公園

隣接する船迫こどもセンター（p15）で遊んでから、お外遊びもできる公園。遊具の数がとても豊富！



交通公園（角田市）

周りの市町にも車で30分以内で行ける子育て施設があります。

子育てサークルなども さかん！

年齢に応じて0才から参加できる子育てサークルがあります。

- ぶにぶにBabie's (0歳児限定)
- さくらんぼう (2歳児限定)
- ちょうちょ (0～4歳)
- ポップ (0～4歳)
- 外あそび親子サークルやろっこひなっこ (未就学児) など



町で実施する 主な子育て支援

産後ケア事業 | 産後のママとベビーが利用できる産後ケア事業があります。助産師さんにベビーを託し、休息、睡眠、昼食、相談をすることができます。

ゆとりの育児支援事業 | 急な通院や冠婚葬祭、リフレッシュしたいとき。便利な保育所での一時預かりを実施しています。

子育て環境

TOPIX

病院がたくさん

お産ができる病院が町内に2つ。住宅地周辺には内科、外科、小児科、耳鼻科、歯科、皮膚科など様々な病院があり、もしもの時に安心。障害児通園施設や放課後等デイサービスの事業所もあります。

おもちゃ病院

ドクターたちが壊れてしまったおもちゃを甦らせてくれます！ものを大切にする心を育む素敵な病院。



みんなの遊び場

太陽の村

山道を登り切った山頂に広がる「自然休養村」。身体を思い切り使って楽しめる芝生の斜面や遊具があり、子どもはもちろん、誰もが自然の中で楽しめる施設です。春はお花見、夏は虫取り、秋は紅葉狩り、冬はそり滑りと、四季折々の自然を五感いっぱい感じられます。



いろんな楽しみ方が
できます

a.キッズバイクパーク 地形を生かして作られた起伏あるコースは、普段はなかなか味わえない躍動感を体感できます！ / **b.木育の部屋** 赤ちゃんは「木育の部屋」で木のおもちゃにゆっくり触れ合うこともできます / **c.散策路** 森林浴を楽しみながらお散歩できる遊歩道も充実。コースにより様々な季節の草花が楽しめます



太陽の村 柴田町本船迫字上野4-1
営業時間 9:00～17:00 / 定休日 月曜日
(祝日の場合は翌火曜日)、年末年始 / 入
場無料 / 電話 0224-56-3970
キッズバイクパーク(有料)
土日祝日開園 / コース使用料 200円...1h
レンタル料300円...1h (冬季間は休業)

子育てでも。

「こんにちは。はじめまして。」楽しいことばかりじゃない子育てでも、大丈夫。ここには寄り添ってくれる場所がある。人がいる。

〈雷窯（いかずちがま）〉
〒989-1761
柴田町葉坂字雷121-1
電話 0224-56-4435



「ここはイギリスみたいでしょう。みなさん紅茶を飲んでいますから。」
日本語の冗談から気さくな人柄がにじみ出る。ジェームス・オペさんは山あいの地区に1991年から「雷窯（いかずちがま）」という工房を構える、柴田町ではちよつと名の知れたクラフトマンです。工房の名前は「雷」という地名から。近くには神様が割ったという大岩のある「拆石（さくせき）神社」もあり「パワースポットだ」と感じたそうです。

オペさんはイギリス出身。10代の頃に学校で陶芸と出会い、「もっと学びたい」と日本へやってきました。福島で修行した後、一度イギリスへ戻りましたが、陶芸家として日本での独立を決意。仙台に近いながらも気候が良く自然に恵まれた柴田町へ移り住みました。今では作品がふるさと納税の返礼品に選ばれるなど、町を代表する陶芸家の一人です。

オペさんは人と関わるのが大好き。子育て中は近くの公民館で英語教室を開き、近隣の子ども達と賑やかに過ごしていたそうです。その後知人に頼まれて始めた大人向けと小学生向けの英会話サークルは今も続いており、町民との交流を深めています。また、月4回工房で行っている陶芸教室には国籍も、職種も多様な人びとが集まってくるそうです。

そんなオペさんなので、焼き物の依頼も多く舞い込みます。「焼き物のことなんなんでもやりたいんです。同じ形のモノなら機械でも作れるから、人間は全く同じものをいくつも作るべきじゃない」とオペさん。お客さんとのコミュニケーションを楽しみ、その人が欲しいものを形にする事に、今は何より喜びを感じているそうです。

作品のモチーフである虹のように、縁あって出会う方を明るい気持ちにしてくれるオペさん。遠くイギリスからこの地を選んで移り住んだ「町の陶芸屋さん」は、今日も柴田町の自然豊かな山の上で、暮らしを彩る作品を作り続けています。

僕は『町の陶芸屋さん』。



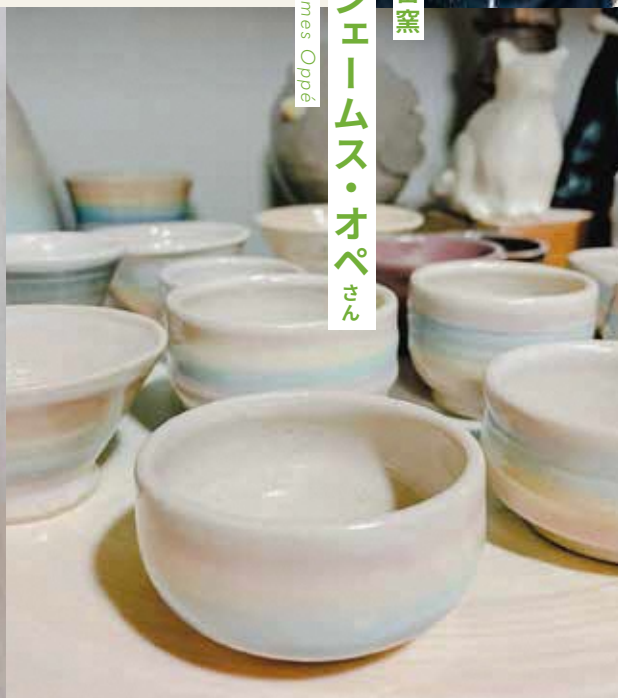
James Oppe

ジェームス・オペさん

雷窯



近くの薪窯パン屋さんとコラボレーションし、窯の灰を釉薬にして作ったお皿。地域とのつながりを何より大切にしています。

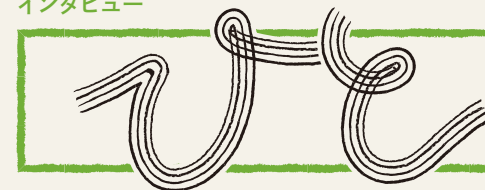


虹のモチーフはオペさんの作品の代名詞。優しい色合いに心が和みます。

shibata no hito

柴田の

インタビュー



柴田町には、周りの人の喜びを自分の喜びにできる心の温かい人が、たくさん暮らしています。

「柏工房」のおにぎりは町内外から大人気。驚くほど大きく種類が豊富なおにぎりは、毎朝早くから家族で力を合わせて握っています。役場で開かれている木曜市でカツヨさんの漬物が人気を博したことから、2013年に自宅の庭に工房を構え「柏工房」としての歩みが始まりました。

町内のスーパーや物産館で販売していますが、直接工房に買い求める人も。明るい大沼さん一家の人柄は地元の方からも親しまれ、長く愛されています。一緒に歩んできたカツヨさんの夫・喜昭さんが2022年に享年86歳で他界されましたが、長女の香代子さんは「これから先もずっとおにぎりを握っていたい」と、力強くも優しい笑みで話してくれました。一つ一つの想いのこもったおにぎりを食べれば、長く愛される理由がきつとわかるはずです。

美味しいおにぎりを
たくさんの方に
届けたい。



〈柏工房〉
〒989-1763 柴田町船迫字土平26
電話 0224-56-2310

香代子さん

Onuma Katsuyo

大沼カツヨさん

柏工房

Katsuyo

カツヨさん・香代子さん・喜昭さんの妹の佐藤正子さん3人でにおにぎりを握っています。



西根ランド
Nishine Hideo
西根秀雄さん

子どもたちみんな、 うちの孫。

「おんちゃん！遊びに来たよ！」
「今日も来たよ！」
木々に囲まれた家から子どもたちの声が聞こえます。竹を組み合わせたすべり台、木にロープをかけたブランコ、廃材を組み合わせたジャングルジム、本格的なテント。町の中にある公園とはひと味違った遊具が並ぶここは、個人宅でありながら近所の子どものために作られた手作りの公園『西根ランド』。名前の由来である西根秀雄さんは、地区の子どもたちを長年見守り、一緒に遊んでくれる「地域の先生」です。この地区に新しく小学校ができた時から子どもたちに関わり続けてきた西根さんは、時には先輩お父さんとして、保護者のアドバイザーになることも。そんな西根さんの家はもとも人が集まる場所でしたが、新型コロナウイルスの拡大で長期休校になった子どもたちのために遊具を作り始めると、毎日のように子どもたちが集まるようになりました。

『西根ランド』と親しみを込めて呼び始めたのは遊びに来ていた子どもたちです。ここは、自分で考え、身をもって体験し、学ぶ場所。いつもにここに見守りながら、遊びのアドバイスをしてくれる西根さんがいる西根ランドが、子どもたちは大好きです。

この地区の小学校は全校生徒が100人ほど。西根さんと一緒にずっと子どもたちを見守ってきた近所の人たちも、子どもたちの成長を楽しみにしています。事件や災害があればいち早く集まり手助けをしてくれる大人がいるのも、この地区の魅力です。

「昔、野球を教えていた子や、見守ってきた子どもたちが大人になって、親としてここに戻って来てくれる。嬉しいよ。だから、今いる子どもたちはみんな、孫みたいなものなんだ」と西根さん。人と人のつながりが薄れつつある今も「子どもは地域みんなで育てるもの」という心がここには受け継がれています。



年齢の大きい子が小さい子を見守りながら遊びます。多種多様な植物や昆虫を観察できる西根ランドは、自然の学び場です。



敷地内の竹藪から切り出した竹を使ったすべり台。西根さんお手製のソリで滑り降りるとスリル満点！子どもたちの人気ナンバーワン遊具です。

自然の恵みを活かし、 地域とともに暮らす家づくりを。

自然の香りが心地良い無垢材。大きな窓から差し込む自然光。壁の漆喰や襖の和紙には地元の職人の技がふんだんに使われています。取材時に建築中だった新たな拠点「さとのえ」。ここは単なるモデルハウスではなく、「坂元

植林の家づくり」の精神を体现するこれまでの集大成です。
サカモトグループは明治初期に林業からスタートしました。住宅事業が始まったのは1989年。森に木を植えて育てるところから始まり、製材・乾燥・

加工、家の設計・建設、さらには建てたあとのメンテナンスまで一貫して行っています。
「サカモトは創業時から地域の方々に支えられ成長してきました」と大沼社長。長年会社を経営する中では、国産材の値下がりやリーマンショックなどの苦難も乗り越えてきました。東日本大震災の復興需要も落ち着き、会社のこれまでの歩みと今の社会を改めて考え、「これからも『持続可能な地産地消の暮らし』を届け続けることがわたしたちの使命」と再確認。自然の恵みを有効に活用する「地産地消の家づくり」をブランド価値として打ち出しています。

「坂元の森」と呼ぶ自社山林では誰もが参加できる「森林体験ツアー」を開催し、家づくりに使う木がどのように育てられているのかを体験を通して知

家には建てて終わりではなく、一生付き合うものであり、地域の財産。だからこそサカモトは、材料づくりからメンテナンスまで、お客様との関わり合いを大切に、地域の暮らしの支え手であり続けようとしています。



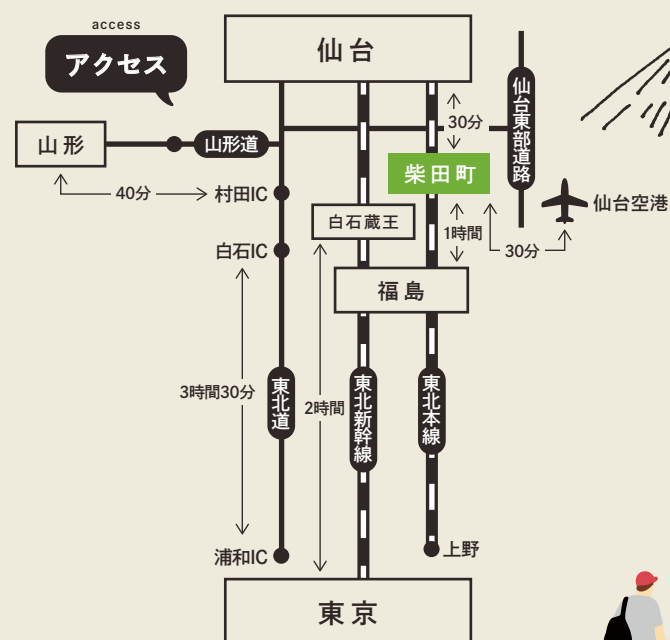
坂元植林株式会社
株式会社サカモト
大沼毅彦さん
Onuma Takehiko



新たな営業拠点「さとのえ」。電気・水道・エネルギーすべてを自給するモデルハウスでありつつ、里山の暮らしを体験する拠点として整備中。



森づくりとつながる家づくりを体験する「森林体験ツアー」での一枚（林業の間伐作業を体験！）



柴田小エリア

自然あふれる山あいの地区ながら、スーパーや医療施設も生活圏内。陶芸家の工房などもあり、セカンドライフにも人気です。

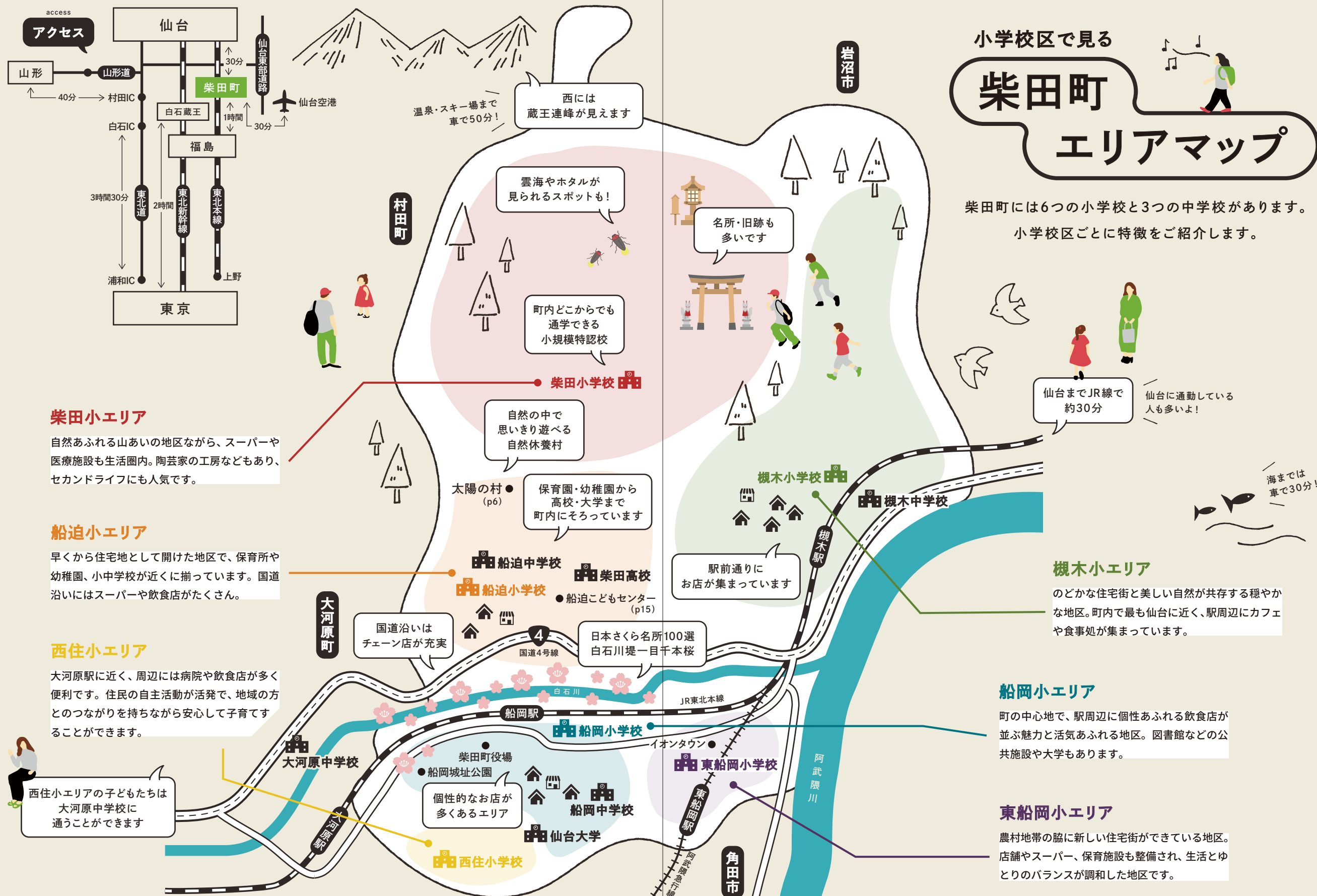
船迫小エリア

早くから住宅地として開けた地区で、保育所や幼稚園、小中学校が近くに揃っています。国道沿いにはスーパーや飲食店がたくさん。

西住小エリア

大河原駅に近く、周辺には病院や飲食店が多く便利です。住民の自主活動が活発で、地域の方とのつながりを持ちながら安心して子育てすることができます。

西住小エリアの子どもたちは大河原中学校に通うことができます



公共施設

船迫小エリア 船迫こどもセンター



乳幼児から学童まで幅広く利用できる子育て支援施設。未就園児の年齢別活動や季節毎のイベントが開催され、ママ友作りの場にもなっています。

柴田町船岡字若葉町10-16 / 0224-55-5541 / 定休日 日曜・祝日・年末年始 / 営業時間 8:30～17:00

船岡小エリア 柴田町図書館



ふるさと文化伝承館に併設され、周囲には芝生が広がっています。幼児用コーナーでは子どもとゆっくり絵本を楽しめます。妊産婦、障がいを持つ方は配送サービスを利用できます。

柴田町船岡西1丁目6-26 / 0224-86-3820 / 定休日 月曜日 / 営業時間 10:00～19:00(土日～17:00)



Webサイト

東船岡小エリア 柴田町まちづくり推進センター “ゆる.ぷら”



市民活動についての情報提供や支援、体験会やイベントを行っています。「イオンタウン柴田」の中にあります。

柴田町上名生字新大原194-1 / 0224-86-3631 / 定休日 火曜日・年末年始 / 営業時間 10:00～18:00



Webサイト

東船岡小エリア 下名生ふぁーむ



地元農家が栽培する新鮮な野菜や手作りの味噌、漬物、民芸品などを販売しています。毎朝お母さんたちが作るおにぎりが人気。

柴田町下名生字町屋敷66-1 / 0224-87-8118 / 営業時間 毎週金・土曜日 10:00～13:00

船迫小エリア オープンガーデン



柴田町にはオープンガーデンをしているお宅が多くあります。佐々木智恵子さんのお庭では鮮やかに咲くバラを香りも一緒に楽しむことができます。

佐々木智恵子さんのお庭 柴田町西船迫2丁目
※詳細は柴田町まちづくり政策課までお問い合わせください。

西住小エリア MARBL (大河原町)



洋服と雑貨のセレクトショップ。店内にはベビーベッド完備、犬連れでも安心のリード付きスペースもあります。明るく気さくな店主さんと話も弾むはず。

大河原町住吉町8-9 / 0224-86-5974 / 定休日 火曜日
営業時間 10:00～19:00



Webサイト

槻木小エリア 村田や



昼は食堂、夜は居酒屋。仙南の美味しい食材を使用した季節に合った料理と、それらに寄り添う銘酒と一緒に楽しめます。実家のような温かさを感じられるお店。

柴田町槻木上町2丁目3-1 / 0224-56-1553 / 定休日 日曜日(祝日の場合は翌月曜日) / 営業時間 11:30～14:00、17:30～23:00



Webサイト

船岡小エリア ふれあい農園



白石川の河川敷にある市民農園。野菜や草花の栽培を通して環境整備を行っています。白石川を渡る遊歩道から見る農園は美しく、四季を感じることができます。

柴田町船岡字川端 / 0224-53-8090(大河原土木事務所行政班)
※詳細はお問い合わせください。

柴田小エリア 柚子のあぜ道 雨乞のかえる



築170年の古民家を改装した和の空間。シェアレンタルや宿泊ができ、食事も提供しています。Wi-Fiなどの設備も整い、様々な過ごし方を楽しめます。

柴田町入間田字下台26 / 0224-87-8890 / 予約制・不定休(営業日は要確認)



Webサイト

船岡小エリア 郷家精肉店



地元に愛される精肉店。良質なお肉が買えるほか、晩ご飯にピッタリのお惣菜も豊富。ボリューム満点の大きなメンチカツとコロケが人気No.1です。

柴田町船岡中央2丁目6-38 / 0224-54-1047 / 定休日 日曜日・祝日 / 営業時間 9:00～19:00

柴田小エリア 福寿山 円龍寺



曹洞宗の寺院。夏祭りや、寺ヨガ、写経会など様々なイベントを開催しており、子どもも楽しめます。自由に拝観でき、四季折々の花も美しいお寺です。

柴田町入間田字寺35 / 0224-56-3469 / 営業日 年中無休 9:00～16:00



Webサイト



企画メンバーの おすすめスポット！

企画メンバーから「ぜひ紹介したい！」と
声の上ったお店や施設を
エリアごとにご紹介。

柴田町の好きなところは？

移住者を受け入れる包容力。

田舎だけれど他者を受け入れる精神があるように感じる。ふれあい農園(市民農園/p14)」にもすぐに馴染む事ができました！



柴田町民の人柄は？

ゆったり、ほっこりしていて居心地が良い。優しいし、見返りを求めない人が多い気がする。

道に迷っていると、いつも「大丈夫ですか？」と声をかけてくれます。最後には「またお話ししましょうね」と、次につながるような付き合い方をしてくれる！



移住に迷っている人は、一度遊びにいらつしやい。そして町民に話しかけてみて。何かピン！と来るものが見つかるといい！

ふたご座

孫に出す料理の野菜はほぼ自家栽培

おひつじ座

時間があれば甲冑着たい

柴田町、楽しいよ！一緒にこの町を盛り上げていこう！



ざいちゃんママのお気に入り
ホルモン炎(ほむら)
柴田町船岡中央2丁目11-24
0224-87-6166
極太背脂チャーシュー麺
柴田町には約10数件のラーメン屋があり(2023年2月現在)、中には行列ができる人気店も！

ラーメン以外にも個性的でおいしい飲食店がたくさんあります！



柴田町の飲食事情は？

「ラーメンが美味しい！」というイメージがある。お店の数も豊富。

柴田町の住みやすさについて、埼玉県から移住してきた親子に、ホントのところを聞いてみました！

移住者のホンネ

私たちがQに答えました

ざいちゃんは結婚を期に旦那さんの地元である柴田町に移住してきました(2019年)。現在は2人の子どもの育てながら仕事にも復帰。ざいちゃんママは旦那さんとの死別を経て、ざいちゃんの子育てを援助すべく移住を決意(2022年)。ママは近くの貸家に住んでほど良い距離を保ちながら、3世代で充実した毎日を送っています。

親ざいちゃんママ

子ざいちゃん



柴田町での子育てってどう？

とってもしやすい！
いろんな子育てサークルがある！

自分にピッタリの仲間がきっと見つかるよ。



やろっこひなっこ

自然の中で外遊びをする親子サークル。町内外のいろいろなところに出かけています！

柴田町のここはちょっとだけ不満

通勤時間帯の渋滞。

車で通勤している人が多いので、朝は大きな道路はどうしても混んでしまう。でもそれ以外の時間は快適！

抜け道を見つけよう！



柴田町には「町を盛り上げたい！」という想いを持った人がたくさんいるし、町も支援してくれます。この町はきっと活気に満ち溢れていく気がしています。

将来の夢はある？
柴田町でそれが実現できると思う？

すでに夢が一つ叶いました！

自分で手がけたイベントで人を喜ばせるのが私の夢。先日、町の人と「バーガーフェス」を開催しました！



仙南バーガーフェス(2022)

仙台南側の地域(=仙南)の飲食店がオリジナルのハンバーガーを販売しました。

柴田町あるある!? 座談会



自然のあるある

花のまち

- ・定番だけど桜が綺麗。
- ・船岡城址公園は桜だけでなく、季節ごとに花が咲いて年中楽しめる。老若男女が散歩する町民の憩いの場。
- ・秋には「菊花展」がある。食用菊のお漬物も食べる！

動物に会える！

- ・白石川に行けば何か動物がいる！冬は白鳥が来るし、昔は牛が放牧されていた。
- ・山の方には鹿やイノシシ、タヌキがいて、「太陽の村」には野ウサギも。
- ・フクロウも鳴いてる！?
- ・夏の田んぼではカエルの合唱が子どもに夜泣きよりうるさい(笑)

雪が少ない

- ・宮城県の中で雪が少ない地域。周りは降っていても柴田町では降っていないかったりする。

あー、あるある



学生街のあるある

学生の街

- ・柴田高校と仙台大学があるので、大盛りでリーズナブルな定食屋さんが多いし、学割のあるお店が多い。
- ・ラーメン店はほとんどオープンして激戦区！

柴田町だけど「仙台大学」

- ・体育系の大学なので1年次の後半からジャージ登校になる(笑)
- ・夏になると白石川でボート部が練習している。
- ・学園祭に遊びに行けるし、仙台大でスポーツの習い事もできる。大学生と触れあえるのは、小さな子どもにとってけっこう貴重。

歴史のあるある

昔は海だった！

- ・山沿いに貝塚がたくさん発見されていて、昔はその辺りまで海だったことがわかってる。

大河ドラマの舞台

- ・船岡城址公園に昭和45年の大河ドラマ「樫ノ木は残った」のモミの木がある。

ミヨコ象

- ・昭和34年、船岡地区で2500年前の古象の臼歯を小学生のみよこさんが発見。「ミヨコ象」と名づけられた。

騎馬像の作者

- ・仙台のシンボル・伊達政宗騎馬像の作者(小室達)は、実は柴田町の人。

いろんな歴史がある〜



食文化のあるある

食材がもらえる!?

- ・「田舎あるある」かもですが、近所の人と仲良くなると自家栽培の野菜をもらえる。時にはイノシシ肉をもらうことも！(クセがなく美味しい)
- ・物々交換のように、野菜やビールが町の中をぐるぐる回っていることがある(笑)

おばあちゃんの味

- ・産直が多く、手作りのおにぎりやお弁当が買える。漬物・煮物が美味しい！

宮城の文化・芋煮

- ・秋になると芋煮をしないではいられない。
- ・他の地域から移住すると、最初、豚汁と芋煮の違いがわからない(笑)
- ・芋煮のこんにゃくは手でちぎって入れることにびっくりした。

リアルなものがたくさん出ました



子育てのあるある

子育て環境が良い

- ・町内に保育園・幼稚園から大学まで全てある！これはけっこうすごい。
- ・幼稚園や小学校に仙台大学と連携した教育プログラムがあって、大学生に運動を教えてもらえる！
- ・幼稚園児や小学生は遠足で「太陽の村」に行くことも。歩いて登ると体力がつく！

子どもに優しい

- ・みんなで子どもを育てる文化がある？
- ・おじいちゃんおばあちゃん世代はもちろん、小学生も小さな子に声をかけて一緒に遊んでくれるので安心。

土地が安い

- ・利便性・暮らしやすさ・人の良さを考えたら圧倒的にお得だと思う。移住したい人に全力でオススメできる！

とても盛り上がりました！

